「いい先生」になるために

教員採用試験を現役合格し、春から教員として働く4年生による座談会。
四天王寺大学で「いい先生」をめざして頑張ってきたエピソードを語っていただきました。

何故教員になろうと思いましたか？

八嶋さん
私が小学校5年生の時に出会った先生が、どんな子供からも愛される凄い先生でした。そんな先生から、正義感が強いところを褒められ、小学校の先生になるよう勧められたことが嬉しく、小学校教員をめざすようになりました。

星野さん
小学校6年生の時に、趣味のお菓子作りを褒めてくれた先生との交流が、教員をめざすきっかけとなりました。また、その先生とは卒業後もずっと手紙や年賀状を交換し合うなどの交流が続いていて、一生子ども達と付き合っていける職業に憧れを持ち、教員をめざしました。

谷さん
私は、子どもが好きという理由で教育学部に入学をしました。実際に教員をめざそうと思ったのは、教育実習に行った時です。実習中、子ども達へ頑張って勉強を教えた分だけ、「分かった！」「(授業が)面白い！」といった声が返ってくるのを感じた時に、教員という職業にやりがいを感じ、めざしはじめました。

小島さん
高校時代、古文のテストで欠点を取った時に、国語の先生が一生懸命応援してくれました。そこで、勉強へのスイッチが入り、次のテストで80点以上を取ることが出来ました。この経験から、生徒のやる気を引き出して伸ばせる職業に就きたいと思い、教員を志しました。

山田さん
私は、高校時代、悩んでいることがあっても、誰にも相談することが出来ない子どもでした。私のように悩んでも相談できない子ども達の悩みを聞いたり、相談してくれたことを一緒に解決したりできるような存在になりたいと思い、全ての学年に関わることができる養護教諭をめざしました。

前田さん
中学時代、勉強が苦手だった私に、国語の先生が放課後や休み時間を使って、先生も勉強しながら５教科全部を教えてくれました。「こんなに全力で人の為にできる人がいるんだ」とその先生に憧れて、教員をめざすようになりました。

教員をめざす中で、学生時代どんな活動をしてきましたか？

星野さん
私は、よさこいソーラン部の活動に力を入れました。50人が協同して一つの作品を作るため、意見のすれ違いが沢山ありましたが、話し合いを重ねてみんなで同じ方向に向かって頑張っていく協調性を培うことが出来ました。また、教育現場へのインターンシップを週3回、よさこいソーラン部の活動も週3回とハードな学生生活でしたが、目標に向かって最後まで努力を続ける忍耐力を得ることが出来ました。

小島さん
私は、3年の3月まで課外活動に注力していました。大学の団体であれば、学生広報スタッフ、わくわくサタ☆デー、PIATAに所属、その他学校ボランティアにも行きました。色々な年代の子どもたちと触れ合ったことによって、面接試験で困難な質問を聞かれたときにも、自信を持って答えることができました。自身の経験を基に答えると、より説得力が生まれるので、自ら進んでボランティアに参加して良かったと感じました。

谷さん
大学で授業を受けると、教育現場に必要な知識は身につきます。しかし、実際どんな子供がいて、先生方はどのように対応すれば良いかを、直接見て経験を積みたかったので、教育現場へのインターンシップや子ども食堂のボランティアに積極的に参加しました。実際に子ども達と沢山触れ合う事で、対応力や臨機応変さを身に付けることが出来たので、経験出来て良かったと感じています。

教員採用試験に向けてどんなことを頑張ってきましたか？

谷さん
一番苦労したことは、面接試験の対策です。友人やゼミの先輩たちと、自分のいいところや足りないところをアドバイスしあい、頑張ることが出来ました。また、筆記試験対策については、大学で実施される講座で貰ったテキストを使って勉強することが、凄く効果的でした。毎日６時間～７時間頑張っていましたが、くじけそうになったときは、教育実習で、子ども達からもらった手紙やプレゼントを見返して、教員になりたいと思った時の気持ちを思い出して頑張りました。

前田さん
私は、筆記試験対策を教員採用試験の半年以上前から頑張りました。また、教員採用試験では、面接試験も重要なので、同じ自治体で教員をめざす仲間達とともに、面接練習や模擬授業の練習に参加し、教職教育推進センターの先生方からたくさんご指導いただきました。その結果、教員採用試験本番では、自信を持って挑むことができました。

八嶋さん
大阪で生まれ育った私が、北九州市の教員をめざすにあたって、まずは北九州市の情報収集から始めました。実際に春休みに北九州市に行き、２泊３日で子ども達と関わるボランティアに参加したり、北九州市の教員養成セミナーに参加したりして、現地での経験を積んだ上で、面接試験に向けて対策を行いました。北九州市は、集団討論の試験もあったので、教職教育推進センターの先生方にたくさん見ていただいたり、授業でひたすら練習を重ねたりして、教員採用試験に備えました。

小島さん
教職教育推進センターの先生方に、面接練習を週1回見ていただいていました。教員になりたい気持ちを言語化したり、近年の教育問題や場面指導などを学習したりしなければ、面接官に聞かれても伝えることができないため、特に力を入れて勉強しました。また、筆記試験の対策は、日本学科の先生方が、現代文・漢文・古文を教えてくれる「教採こころえプロジェクト」に参加して、一生懸命勉強しました。

四天王寺大学を選んだ理由を教えてください。

谷さん
ずっとなりたかった小学校教員への夢に対して、しっかりサポートしてくれるカリキュラムや、丁寧に支えてくださる先生方がいると聞き、四天王寺大学に決めました。2年間を通して教育現場を経験できるので、大学だけでは学ぶことができない実体験が得られることはもちろん、改めて先生になりたいという強い気持ちが湧いてきます。普段の大学生活でも、周りに同じ夢をもった仲間がたくさん集まり、切磋琢磨して「いい先生」になるための勉強をして、充実した毎日を送ることが出来ることも魅力です。四天王寺大学を選んで本当によかったです。

小島さん
高校教諭になるための施設やカリキュラムが充実していると感じたからです。四天王寺大学の教職教育推進センターでは、教員採用試験対策のサポートが非常に充実しています。大阪府の教員採用試験は、面接試験が大きな比重を占めるのですが、実際の教育現場で活躍されていた先生方に面接練習をしていただけるので、的確かつ学びの深い指導をしていただけます。また、日本学科の学びも魅力的でした。日本学科は１年次から人前で話す機会が多く設定されているので、場数を踏むごとに少しずつ苦手意識がなくなっていきます。僕は人前で話すことが苦手でしたが、緊張はするものの苦手意識はなくなりました。これは、必修授業に人前で話す機会が組み込まれていたからだと思います。

山田さん
福岡県出身の私ですが、自立したいという思いから憧れの大阪に住むことを決めました。その際、養護教諭になるという夢を叶えるために、免許の取得できる大学を探しました。養護教諭は看護学部でもなれるのですが、私自身、教育を学びたいという気持ちが強く、教育学部から養護教諭の免許の取れる四天王寺大学を選びました。また、実習の制度が充実していることや、毎年の教員採用試験で、養護教諭をめざす保健教育コースから合格者が出ていることも、大学選びの決め手となりました。

前田さん
高校生の頃から小学校の教員になりたいと思い、高校3年生の進路相談の際に担任の先生に教育学部のある大学へ行きたいと相談したところ、私立大学の中でも教員採用試験合格者数が多い四天王寺大学の教育学部を提案していただきました。オープンキャンパスや、高校にある資料などで様々な大学を比較して、大学卒業後、小学校の教員になるという自分自身の目標のためには、四天王寺大学を第一志望として選ぶべきだと考えました。また、四天王寺大学では、実践的な学びの機会が多くあり、現場に出て即戦力になれる力をつけたいと思い、四天王寺大学を志望することを決めました。

山田さん
教員採用試験に向けて勉強する中で、家では集中できなかったので、大学の図書館や教職教育推進センター前のラウンジで、朝から夜まで毎日９時間ほど籠って勉強していました。また、小学校のボランティアに参加し、実際に健康診断のお手伝いをするなど養護教諭の仕事を経験して、教員採用試験に役立つ学びを得ることができました。

星野さん
筆記試験対策を行う上で、数学が苦手だったので、過去問題を１０周以上繰り返して解き方を覚え、出来ない問題をどんどん減らしていきました。また、模擬授業の試験に備えて、専門の知識がある教職教育推進センターの先生からの指導は、とても役に立ちました。その他、面接試験の対策では、どんどん上手くなっていく友人達と刺激し合い、どんなことを聞かれてもしっかりと答えられるよう、何度も練習を重ねました。

あなたが考える「いい先生」とは?

大阪府小学校教諭 合格
教育学部 教育学科
小学校教育コース※1
谷 花純 さん
大阪府立河南高等学校 出身

だれからも信頼される先生だと思います。人と人が向き合う職業なので、子どもたちはもちろん、保護者や他の先生方からも信頼される先生をめざします。

大阪市小学校教諭 合格
教育学部 教育学科
小学校教育コース※1
前田 泰佑 さん
大阪府立阪南高等学校 出身

中立的な立場で物事を考えて、自己成長をはかることができる先生です。しっかり児童の話を聞いて、「この先生なら言える」と思ってもらえるような先生になりたいです。

北九州市小学校教諭 合格
教育学部 教育学科
小学校教育コース※1
八嶋 心 さん
大阪府立桜塚高等学校 出身

子どもたちの人生に携わる職業だと自覚し、一生懸命で周りの環境を大切にして、「ありがとう」と「ごめんなさい」を素直に言える先生です。子ども達が素直な言葉が出せるようになるためにも、教員はお手本にならないといけないと思います。

大阪府高等学校教諭(国語) 合格
人文社会学部
日本学科※2
小島 佳太 さん
大阪府立高石高等学校 出身

ずばり生徒の心の支えになる先生です。生徒が「学校に行く気が進まないな･･･」と思う時に、「あの先生がいるから！」「あの先生と話がしたいから学校に行こう！」と思ってくれるような先生をめざします。

大阪府養護教諭 合格
教育学部 教育学科
保健教育コース※1
山田 生吹 さん
福岡県立三池高等学校 出身

子どものことを一番に考え、子どもを受け止めることができ、一緒に考えることができる先生です。家庭の事情や人間関係で悩む子どもたちにとって、一番の解決策を一緒に寄り添って考えられる先生になりたいです。

大阪府特別支援学校教諭 合格
教育学部 教育学科
小学校教育コース※1
星野 美咲 さん
大阪府立夕陽丘高等学校 出身

いつも笑顔で楽しく子どもと接し、子どものことを一番に考えて行動できる先生です。子どもが行きたいと思う学校とは、子ども自身が安心できる場所だと思っているので、いつも笑顔で明るい先生でいたいです。

※1　2024年4月より「学校教育コース」
※2　2024年4月より「文学部 日本学科」